

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 18 年 7 月 6 日 (2006.7.6)

【公開番号】特開 2000-62323 (P2000-62323A)
 【公開日】平成 12 年 2 月 29 日 (2000.2.29)
 【出願番号】特願 平 11-158572
 【国際特許分類】

B 4 1 M 5/323 (2006.01)

【F I】

B 4 1 M 5/18 1 0 2 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 5 月 17 日 (2006.5.17)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

支持体並びに実質的に非感光性の有機カルボン酸の銀塩、それと熱作用関係にあるそのための還元剤および少なくとも 1 種の蛋白質系結合剤を含有する感熱性要素を含んでなるサーモグラフィ記録材料であって、該感熱性要素が該感熱性要素中の該蛋白質系結合剤に関して 700 ppm ~ 5 ppm の間の非フルオロ - ハライドイオンを含有しそして該サーモグラフィ記録材料が実質的に水を含まない条件下で熱により現像可能であることを特徴とする材料。

【請求項 2】

1 種もしくは複数の該蛋白質系結合剤が 700 ppm ~ 5 ppm の間の非フルオロ - ハライドイオンを共に含有する請求項 1 に記載のサーモグラフィ記録材料。

【請求項 3】

1 種もしくは複数の該蛋白質系結合剤が 100 ppm もしくはそれより低い濃度でアルカリ金属イオンを共に含有する請求項 1 または 2 に記載のサーモグラフィ記録材料。

【請求項 4】

該感熱性要素がさらに感光性ハロゲン化銀を含有する請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載のサーモグラフィ記録材料。

【請求項 5】

実質的に非感光性の有機カルボン酸の銀塩の水性分散液を製造し、該実質的に非感光性の有機カルボン酸の銀塩の水性分散液、還元剤および少なくとも 1 種の蛋白質系結合剤と一緒に含有する 1 種もしくはそれ以上の水性コーティング組成物を製造し、そして該 1 種もしくはそれ以上の水性コーティング組成物を支持体に適用し、それにより乾燥後にサーモグラフィ記録材料を形成する段階を含んでなる、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載のサーモグラフィ記録材料の製造方法。